



【先週 6月27日～7月3日の外食の出来事】

■ワタミ、東京都豊島区教育委員会と弁当提供に関する事業協定締結

ワタミは、食事宅配サービスを行う「ワタミの宅食」を活用した、学童クラブへの弁当提供に関する3年間の事業協定を東京都豊島区教育委員会と6月24日に締結。まず、7月19日～9月1日の夏休み期間中に実施する。

■賞味期限改ざんの「がんこ寿司」、創業者の小嶋会長が引責辞任

「がんこフードサービス」が、賞味期限を改ざんした冷凍の「笹蒸し寿司」を販売していた問題で、創業者の小嶋淳司会長(85)が責任を取って辞任した。同商品や、菓子「とうふショコラ」でも新たな賞味期限の改ざんが判明し

■壺番屋、第1四半期(2020年3月～5月)の連結業績 増収増益

2022年2月期 第1四半期の連結業績は売上高110億6100万円(対前年同期比7.1%増)、営業利益6億8400万円(同107.2%増)、経常利益11億3800万円(同179.4%増)、四半期純利益12億5800万円(同396.7%増)

■スシロー&京樽、ダブルブランドTO店舗を一举に4店

株式会社FOOD & LIFE COMPANIES(本社:大阪府吹田市、代表取締役社長 CEO:水留 浩一)が、「京樽」と「スシロー」とのダブルブランドのテイクアウト専門店を、7月7日(水)に4店舗同時オープンさせる。

■三光マーケティングフーズ、「東京チカラめし」香港1号店を旺角にオープン

三光マーケティングフーズは、ライセンス契約を締結した千源集團有限公司と共に、香港・九龍の繁華街、旺角(モンコック)にて香港初上陸となる「東京チカラめし」香港1号店を6月22日にグランドオープンした。

■ハイデ日高、28億円赤字 今期単独営業、時短・酒類制限響く

ラーメン店「日高屋」を運営するハイデ日高は、2022年2月期の単独営業損益が28億円の赤字(前期は27億円の赤字)になる見通しだと発表した。税引き損益は時短協力金の計上で黒字に転換する見通しだ。

■ギフト、上半期(2020年11月～2021年4月)の連結業績 増収増益

ギフトの2021年10月期 第2四半期の連結業績は売上高63億300万円(対前年同期比18.9%増)、経常利益5億5300万円(同73.7%増)、四半期純利益3億5500万円(同107.5%増)と増収増益を確保した。

■バルニバービ、第3四半期(2020年8月～2021年4月)の連結業績

バルニバービの2021年7月期 第3四半期の連結業績は売上高62億4400万円(対前年同期比19.4%減)、営業損失7億8100万円(-)、経常損失4億9900万円(-)、四半期純利益6億8600万円(-)であった。

■鳥貴族、第3四半期(2020年8月～2021年4月)の連結業績

鳥貴族は、2021年7月期 第3四半期(2020年8月～2021年4月)の連結業績は売上高142億4300万円(-)、営業損失25億8800万円(-)、経常損失20億2700万円(-)、四半期純損失14億6300万円(-)であった。